

「『個別最適な学び』を目指した取組事例」

事例1

ヒントカードの選択



指導の個別化

学 年	小学校 第5学年	教 科	算数 「合同な図形」												
本時の目標	合同な三角形のかき方を活用して、合同な平行四辺形のかき方を考え、説明することができる。														
個別最適な学びへ向けた工夫															
<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決の際、考えが進まない児童に、ロイロノート・スクールの資料箱に入っているヒントカードを参考にして、課題を解決させる。 ・ヒントカードを3種類用意し、自分が分からないことは何か、何が分かれば問題を解決できるのか考えさせ、一人ひとりが必要なヒントカードを選択させる。 ・ヒントカード活用の有無、活用したヒントカードの種類を確認し、個々の学習状況を把握することで、次時の指導内容・方法の検討につなげ、一人ひとりに学習内容を確実に定着させる。 															
<table border="1"> <tr> <td>小ヒントカード</td> <td>小ヒントカード</td> </tr> <tr> <td>中ヒントカード</td> <td>中ヒントカード</td> </tr> <tr> <td>大ヒントカード</td> <td>大ヒントカード</td> </tr> </table>	小ヒントカード	小ヒントカード	中ヒントカード	中ヒントカード	大ヒントカード	大ヒントカード	<table border="1"> <tr> <td>小ヒントカード</td> </tr> <tr> <td>書き方のヒントを知りたい人へ</td> </tr> </table>	小ヒントカード	書き方のヒントを知りたい人へ	<table border="1"> <tr> <td>中ヒントカード</td> </tr> <tr> <td>解き方のヒントがほしい人へ</td> </tr> </table>	中ヒントカード	解き方のヒントがほしい人へ	<table border="1"> <tr> <td>大ヒントカード</td> </tr> <tr> <td>かきかたを全て知りたい人へ</td> </tr> </table>	大ヒントカード	かきかたを全て知りたい人へ
小ヒントカード	小ヒントカード														
中ヒントカード	中ヒントカード														
大ヒントカード	大ヒントカード														
小ヒントカード															
書き方のヒントを知りたい人へ															
中ヒントカード															
解き方のヒントがほしい人へ															
大ヒントカード															
かきかたを全て知りたい人へ															

事例2

ポートフォリオ評価

指導の個別化

学 年	小学校 第4学年	教 科	図画工作
題 材 名	「つけて、のぼして、生まれる形」 「つないで組んで、すてきな形」		
個別最適な学びへ向けた工夫			
<ul style="list-style-type: none"> ・各時間の作成途中の作品を撮りためておき、ロイロノート・スクール上でつなげることで、自分がどのように考え作品作りを行ったのかわかるようにさせ、次のアイデアを想起させる。 ・撮りためた写真を元に、教員が児童の思考過程や思いを把握し、一人ひとりに必要な指導方法を検討したり、評価に活用したりする。 ・制作した作品を自宅等で実際に使っている様子を撮影・提出させ、一人ひとりがどのような意図で制作したのか、どのように楽しんだのかをより詳しく把握し、評価にも活用する。 			
			

事例3

AIドリルの活用

指導の個別化

学 年	小学校 第2学年 ~ 中学校 第3学年
教 科	国語、算数・数学、理科、社会、英語（中学校）
活 用 場 面	授業内の適用問題として活用 ・ 家庭学習、長期休業中の課題として活用

個別最適な学びへ向けた工夫

- ・基本問題 → 確認問題 → 応用問題とスモールステップで学習へ取り組ませることにより、一人ひとりの習熟状況を確認し、指導に生かす。
- ・まとめ問題の正誤状況やこれまでの学習状況から、一人ひとりの苦手な学習内容の問題が出題されることを生かし、基礎学力・応用力の向上につなげる。
- ・一人ひとりが「ちょうど解ける」問題が出題されたり、自分の苦手な学習内容がどのくらい解消されたかが分かたりする機能を生かし、児童生徒の学習意欲の向上につなげる。
- ・教員が復習させたい範囲と取り組み時間を設定すると、一人ひとりに最適な課題を配信することができるので、家庭学習や長期休業中の個別の課題として活用する。



事例4

インタビュー対象の選択

学習の個性化

学 年	小学校 第6学年	教 科	総合的な学習の時間「夢の相談室」
単 元 の 目 標	仕事について調べたり、働く人と関わったりする活動を通して、社会には、人々を支える多くの仕事があることや、働く上でそれぞれの考え方や生き方があることを理解し、自分の将来に向けての課題を自ら設定し、課題の解決に向けて試行錯誤するとともに、自己の生き方について考えることができるようにする。		

取 組 場 面	【情報の収集】 身の周りの人の仕事について調べるために、インタビューを計画・実践する場面
---------	---

個別最適な学びへ向けた工夫

- 一人ひとりの興味・関心、調べたい方向性をもとに、駅前で街頭インタビューする対象を選択
- ・ 駅に来ている人
 - ・ 駅で働いている人
 - ・ 駅にある店で働いている人

学習内容の深まり・広がり

- ・「好きなことを仕事にしている人は、その仕事を長く続けている。」
 - ・「『働くこと』で大切なのは、人のためにという思いや人との関わりだ。」
- 次の課題へつなげる

